

平成28年度  
今治市子ども議会 会議録



平成28年8月3日

# 今治市子ども議会 会議録 目次

8月3日

出席議員	1
説明のため出席した者の職・氏名	2
市議会出席議員	2
市議会事務局出席職員	3
議事日程	4
開 会	
渡辺文喜議長挨拶	5
菅良二市長の招集挨拶	6
開 議	
日程1 議席の指定	7
日程2 会議録署名議員の指名	7
日程3 会期の決定	7
日程4 一般質問	
松田 航汰（まつだ こうた）議員の質問	7
菅良二市長の答弁	8
垣谷光慶都市建設部長の答弁	9
熊野 洸太（くまの こうた）議員の質問	9
菅良二市長の答弁	10
渡辺英徳総務部長の答弁	11
渡邊 遥佳（わたなべ はるか）議員の質問	12
菅良二市長の答弁	12
高橋実樹教育長の答弁	13
矢野 穂月（やの ほづき）議員の質問	14
菅良二市長の答弁	14
阪部 泰成（さかべ たいせい）議員の質問	15
菅良二市長の答弁	16
吉田 龍生（よしだ りゅうせい）議員の質問	17
菅良二市長の答弁	18
渡部 颯太（わたなべ そうた）議員の質問	19
菅良二市長の答弁	19
亀石 彪太郎（かめいし ことろう）議員の質問	21
菅良二市長の答弁	21
赤松 美咲（あかまつ みさき）議員の質問	23
菅良二市長の答弁	23

	村上伸幸健康福祉部長の答弁	24
休	憩 (午後 3 時 40 分)	
再	開 (午後 3 時 50 分)	
	脇本 愛里 (わきもと あいり) 議員の質問	25
	菅良二市長の答弁	26
	白石卓夫市民環境部長の答弁	27
	西原 紀花 (にしはら のりか) 議員の質問	27
	菅良二市長の答弁	28
	越智 堅太郎 (おち けんたろう) 議員の質問	29
	菅良二市長の答弁	30
	渡邊 海都 (わたなべ かいと) 議員の質問	31
	菅良二市長の答弁	32
	安井孝産業部長の答弁	32
	須賀 友香 (すが ゆか) 議員の質問	34
	菅良二市長の答弁	34
	越智博農水港湾部長の答弁	35
	曾我部 江里加 (そがべ えりか) 議員の質問	36
	菅良二市長の答弁	36
	平木 直都 (ひらき なおと) 議員の質問	38
	菅良二市長の答弁	38
	胡井裕志企画財政部長の答弁	39
	八木 新葉 (やぎ わかば) 議員の質問	40
	菅良二市長の答弁	40
	新居田昌彦教育委員会事務局長の答弁	41
	菅良二市長の講評	43
閉	会 (午後 5 時 15 分)	

# 今治市子ども議会 会議録

## 出席議員

1番	日吉中学校	タクボ 田窪	コトミ 琴美	2番	日吉中学校	マツダ 松田	コウタ 航汰
3番	近見中学校	ハラ 原	ショウキ 翔輝	4番	近見中学校	ワタナベ 渡邊	ハルカ 遥佳
5番	立花中学校	サカベ 阪部	タイセイ 泰成	6番	立花中学校	イトウ 伊東	ミユ 美結
7番	桜井中学校	タカハシ 高橋	テツヒロ 哲浩	8番	桜井中学校	ワタナベ 渡部	ソウタ 颯太
9番	南中学校	ニシモト 西本	ハルマ 晴馬	10番	南中学校	アカマツ 赤松	ミサキ 美咲
11番	西中学校	ヒロセ 廣瀬	カント 寛人	12番	西中学校	ニシハラ 西原	リカ 紀花
13番	北郷中学校	ワタナベ 渡邊	カイト 海都	14番	北郷中学校	キムラ 木村	ミサト 美里
15番	朝倉中学校	ナガイ 長井	マサカズ 應利	16番	朝倉中学校	ソガベ 曾我部	エリカ 江里加
17番	玉川中学校	クマノ 熊野	コウタ 洸太	18番	玉川中学校	イシイ 石井	リカ 梨々花
19番	大西中学校	タケマツ 竹松	ハヤト 隼人	20番	大西中学校	ヤノ 矢野	ホツキ 穂月
21番	菊間中学校	ヨシダ 吉田	リュウセイ 龍生	22番	菊間中学校	ワタナベ 渡部	リオ 理央
23番	大島中学校	カメイシ 亀石	コウタロウ 彪太郎	24番	大島中学校	フジモト 藤本	ナナハ 菜奈葉
25番	伯方中学校	コダマ 児玉	ヒロミ 大海	26番	伯方中学校	フキモト 脇本	アイリ 愛里
27番	大三島中学校	オチ 越智	ケンタロウ 堅太郎	28番	大三島中学校	オチ 越智	ケイコ 慶子
29番	関前中学校	スガ 須賀	ユカ 友香	30番	関前中学校	ムラカミ 村上	ナギ 和風
31番	今治東中等教育学校	ヒラキ 平木	ナオト 直都	32番	今治東中等教育学校	アヤ 阿野	ヒビキ 響
33番	今治明德中学校	ヤギ 八木	ワカバ 新葉	34番	今治明德中学校	クメダ 桑田	カズマ 一馬

## 説明のため出席した者の職・氏名

市長	菅 良二	副市長	長野和幸
監査委員	川口義輝	教育委員長	奥本忠孝
教育長	高橋実樹	総務部長	渡辺英徳
企画財政部長	胡井裕志	健康福祉部長 (兼)福祉事務所長	村上伸幸
市民環境部長	白石卓夫	産業部長	安井 孝
農水港湾部長	越智 博	都市建設部長	垣谷光慶
上下水道部長 (兼)水道部長	阿部正志	消防長	鎌田達治
教育委員会事務局長	新居田昌彦	企画財政部次長 (兼)財政課長	越智 透

## 市議会出席議員

議長	渡辺文喜	副議長	森 京典
広報広聴特別 委員会委員長	本宮健次	広報広聴特別 委員会副委員長	羽藤謙司
議会運営 委員会委員長	寺井政博	議会運営 委員会副委員長	藤原秀博

## 市議会事務局出席職員

局長

門田 誠五

議会総務課長

秋山 律也

議会総務課長補佐 越智 健二

(兼) 議事調査室長

議 事 日 程

(平成 28 年 8 月 3 日)

日程番号	議 事 内 容
1	議席の指定
2	会議録署名議員の指名
3	会期の決定
4	一般質問

○渡辺文喜議長

皆さんこんにちは。

今治市議会議長の渡辺文喜でございます。今治市子ども議会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。まず最初に、私が中学生諸君の若い感覚で、また新しい発想で子ども議会に参加をいただき政治に関心を持ってもらい市議会を身近に感じてもらいたい。そんな思いから、議会の議会運営委員長さんや、広報広聴委員長さんにご相談申し上げ、議員各位の賛同をいただき、市長さんや教育長さん理事者の皆さんにもご協力をいただき開会の運びとなりましたこと、裏方で支えて頂いた方を含め、すべての皆さんに心から感謝と敬意を表します。ありがとうございました。

議員になられた中学生諸君、ようこそお越しいただきました。心より歓迎を申し上げます。先日の中学生弁論大会での発表、昨日のレイクランド訪問団の結団式での抱負等、随分たくましい姿を見せていただきました。今日、議員になられた皆さんもどうかリラックスしていただき、いろいろ常日頃考えている事を皆さんの目線で質問してください。今日のために今治市の現状や今治市が今まで取り組んできたこと、故郷今治について沢山調べてきてくれたかと思いますが、若い感覚で、新しい発想で、将来の今治を見越した質問をしていただければこんなに嬉しいことはありません。どうか頑張ってくださいと思います。理事者の皆さんには、大変忙しい中での子ども議会ですけれども、ご出席いただきありがとうございました。質問にはできる限り具体的にご答弁賜りますようお願いをしておきたいと思います。

最後になりますけれども、各学校の先生方、そして保護者の方々にはこうしてご支援を賜り、またご協力をいただきましたこと、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。これが最初で最後ではなく、来年度以降も継続をして実施をしていきたいというふうに思っています。どうかご理解をいただきご協力を賜りますよう、重ねてお願いをしておきたいと思います。

それでは、今から、私が、本議会の議長を指名して、子ども議会を進めたいと思いますが、今議場に集まられた子ども議会議員の皆さんは初対面の方がほとんどだと思いますので、学校名とお名前の自己紹介をお願いしたいと思います。それでは1番の日吉中学校 田窪琴美議員から、議席番号順にお願いします。それではどうぞ。

(子ども議員 自己紹介)

ありがとうございました。

それでは、子ども議会の議長を指名いたします。議長は、朝倉中学校の長井應利議員を指名いたします。長井議長、議長席をお願いいたします。





○長井應利子ども議会議長

私は、初めに議長をつとめます、朝倉中学校の長井應利です。  
よろしくお願ひします。  
本日の出席議員は 34 名です。  
ただ今から「今治市子ども議会」を開会いたします。  
市長から子ども議会招集の挨拶があります。

○菅良二市長

子ども議会の議員の皆さん、こんにちは。今治市長の菅良二です。  
子ども議会の開催にあたり、一言ご挨拶いたします。  
本日は、市内 17 の中学校及び中等教育学校を代表する 34 名の議員の皆さんには、大変暑い中を子ども議会に出席いただき、また大勢の保護者の皆様が傍聴にいらしてくださり、本当にありがとうございます。  
本日の子ども議会は、今治市の将来を担う、いや、ぜひ担って欲しい、17 の中学 3 年生それぞれの代表として、本市の更なる発展に向けたご意見をいただき、今後のまちづくりを進める参考とするために開催するものです。  
私は、日頃より、今治市に住んでいる、また働いている全ての人々が一つのチームとして力を合わせ、オール今治でまちづくりに取り組むことが大切であると考えております。今年から、選挙権年齢が 20 歳から 18 歳に引き下げられ、皆さん自身が、実際の選挙に参加される日も、近い将来やってきます。皆さんは勿論ですが、学校の同級生たちも、チーム今治の仲間です。本日の、この子ども議会を良いきっかけとして、まちづくりに対する意識をチーム全体で高めていただきたいと思います。  
最後に、皆さんには、元気はつらつで、質問や意見を出していただき、実りの多い議会となることを期待申し上げ、私からのご挨拶といたします。

○長井應利子ども議会議長

菅市長さん、ありがとうございました。  
これより本日の会議を開きます。  
本日の議事日程はお手元に配付の日程表のとおりであります。  
また、本日の「子ども議会」につきましては、報道機関などから撮影をしたいとの申し出

があり、撮影を許可しておりますので、ご了承ください。

日程第1、議席の指定を行います。

議席は、議長において皆さんが今着席しているとおり、議席を指定いたします。

日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、24番藤本菜奈葉議員、34番桑田一馬議員、以上、二名の方々を指名いたします。

日程第3、「会期の決定」を議題とします。

おはかりします。

今治市子ども議会の会期は、本日1日としたいと思いますが、ご異議ありませんか。

( 「異議なし」と言う )

○長井應利子ども議会議長

ご異議なしと認めます。よって、会期は、本日1日と決定しました。

日程第4、「一般質問」を行います。

質問の順番は、各議席に配付しております一般質問順のとおりです。

通告者の発言を順次許可いたします。

初めに、2番日吉中学校松田航汰議員。



○松田航汰議員

日吉中学校3年松田航汰です。私は、観光客に対する取り組みについて質問します。

今治市は、風光明媚な土地であり、しまなみ海道が本土との架け橋となっています。そのため、サイクリングやウォーキングによるイベントが盛んであり、そのイベントには、日本国内はもちろん、世界各地からたくさんの方が参加することも期待されます。

私は、ふるさと今治市が、多くの幅広い世代の人たちや国内外の観光客にとって、「しまなみ海道を渡って訪れたいまち」になってほしいと思います。そのために、2つの課題解決を望みます。

まず一つ目は、宿泊所を増やすことです。現在、週末になると今治市内のホテルや旅館は

いっぱいになり、なかなか予約がとれません。そのため、今治に足を運ぼうと思っている人達が予約を取れない状況に、あきらめなくてはいけない状態にあるのではないのでしょうか。

二つ目は、自転車や歩く人が安心して通れる道路を整備することです。私は、自転車が通るスペースが狭いと感じたことがあります。車道を通るため、自転車にとっても車にとっても危険と背中合わせになります。今治市を訪れた人たちが、安全でゆったりと楽しめる、そんな環境の整備が必要だと考えます。以上で私の質問を終わります。

○長井應利子ども議会議長

答弁を求めます。

○菅良二市長

トップバッター、松田航汰議員。オコエ・瑠偉選手が来たのかなと皆さん思わせるような真っ黒いスポーツマン。砲丸投げ県総体で優勝。しかも空手、しっかりやっておる。そして後に議長を務められます田窪琴美議員は生徒会会長で役員として、まさに文武両道をしっかり頑張っている日吉中学。

松田航汰議員ご質問の「観光客に対する取り組みについて」のうち、「宿泊所を増やすこと」に関しまして、私からお答えさせていただきます。

近年、しまなみ海道は、「サイクリストの聖地」としてのブランドイメージが定着しており、国内外から多くの観光客が訪れるとともに、滋賀県守山市や辺野古で有名な沖縄県名護市長、稲嶺さんという方や、北海道美唄市、高橋市長さん。この方もなかなか活動的な方、いわゆる全国の自治体から市長さんや副市長さん自ら視察に来ていただいています。

高速道路の本線を一部通行止めにして開催される国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ」、国際海事展「バリシップ」なども開催されるようになり、ゴールデンウィーク中や観光シーズンの週末、そしてこうした大きなイベントやコンベンションが開催される際には、市内の旅館・ホテルだけでは足りず、一部の宿泊客が松山市や西条市など周辺都市に流れているのが実情です。

多くの観光客を気持ちよくお迎えし、少しでも長く本市に滞在していただくためには、宿泊施設の充実が不可欠なのはご発言のとおりです。旅館、ホテル事業者の投資意欲を喚起し、新築・増床、或いは設備の充実を図るためには、年間を通してコンスタントに観光客の宿泊が期待できる、真の意味での「観光都市」を目指す政策が必要だと考えています。

しまなみ海道は、サイクリングはもちろん、この4月に尾道市と共同で「日本遺産」の認定を受けた「村上海賊の遺産群にまつわるストーリー」、そして潮流や多島美といった瀬戸内の壮大な自然や山海のグルメ食材など、多様な観光資源を有しています。

海道沿線の自治体、関係団体と連携してこれらを有効に活用し、しまなみ海道を魅力溢れる「広域的な集客施設」に育て上げることで、より多くの観光客の誘致につなげたいと考えています。

道路の整備については、都市建設部長からお答えしますのでよろしく申し上げます。

○垣谷光慶都市建設部長

松田航汰議員ご質問の「自転車や歩く人が安心して通れる道路整備について」お答えします。

近年、健康ブームの高まりを背景に、環境への負荷の少ない自転車の存在が見直され、スポーツタイプの自転車が増加しています。

特に今治市では、しまなみ海道の知名度の上昇に伴いサイクリストの増加が顕著であり、自転車の走行スペースの問題に取り組んでいるところです。

愛媛県では、自転車の走行スペースを確保する方法として、手始めに、しまなみ海道の島しょ部において、自転車と歩行者と一緒に通行している自転車歩行車道の「歩道を狭めて、白線の外側を広げる」ことで、車道を自転車が安全に走れるよう取り組みを進めています。

昨年度から宮窪地区で取り組みが始まっていますが、伯方地区においても計画があり、交通量の多いところから着手しているようです。車道の左側が広がることで、自動車との距離も取れるようになり安全性も高まってくると思われませんが、道路スペースの見直しは短期間にはできるものではありませんので、シェア・ザ・ロードの考え方で、自動車、自転車、歩行者がお互いに思いやりを持って、限られた道幅の中で、安全に、快適に利用していくことが大切だと考えています。

どうぞ、中学生の皆さんも、マナー向上にご理解、ご協力をお願いします。

○長井應利子ども議会議長

松田航汰議員。

○松田航汰議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○長井應利子ども議会議長

以上で、松田航汰議員の一般質問を終わります。

次に、17番玉川中学校熊野洸太議員。



○熊野洸太議員

玉川中学校3年熊野航汰です。私たちは南海トラフ防災対策について質問します。

2011年3月11日、東北地方を襲う東日本大震災がありました。たくさんの方々が亡くな

り、まちには大きな被害が出ました。僕は、当時小学4年生で、家に帰って、テレビ画面に映るまち全体が黒い津波に飲み込まれている映像を見て、言葉が出ないくらい驚きました。

最近、熊本地震もありましたが、僕はニュースを見て、「復興作業などに東日本大震災での経験があまりいかせていない」ということを知りました。また、近い将来起こるといわれている南海トラフ地震では、政府は、被害想定・死者33万人という非常に大規模な地震が起こる可能性が高いと言っていることを知りました。

そこで質問なのですが、現在、今治市は、南海トラフ地震での被害や二次災害についてどのようなことが起こると予想しているのか、また、防災対策として何をしようとしているのかを教えてくださいたいと思います。よろしくお願いします。以上で質問を終わります。

○長井應利子ども議会議長

答弁を求めます。

○菅良二市長

玉川中学、熊野議員、石井議員お二人とも生徒会会長、書記として学校全体を引っ張っているリーダーで有ります。それから先般、玉川中学といえば、全日本実業団で今治で開催された越智選手が大黒柱。準優勝であったんですけど、玉川中学伝統のスポーツの中で、熊野議員は水泳が得意。それから石井議員はバレーボール。非常に頑張ってくれているようでありまして、クラス対抗での合唱のコンクールでは熊野議員は指揮者として、また石井議員はピアノ演奏といずれにしても中心的な役割を担っている。そういう、まさに学校を代表して2人が来てくれたんだと感じながら、熊野洸太議員ご質問の「南海トラフ地震の防災対策について」に関しまして、お答えさせていただきます。

阪神淡路大震災から21年、東日本大震災から5年が経過し、そしてご指摘の今回の熊本地震と、我々はその都度自然の脅威を痛感させられます。言い古された言葉ですが、災害は忘れたころに突然やってきます。台風をはじめとする風水害は、最近では気象予報の精度が向上し、ある程度予測の中で準備や対策をとることが可能になっています。しかしながら、地震に関しては現在の科学をもってしても予知が困難であり、前触れもなく大きな被害をもたらします。

防災対策で重要なことは、もしものときの物心両面の備えです。熊野議員の生まれた2001年に瀬戸内海の安芸灘を震源とした芸予地震があり、本市にも大きな被害をもたらしました。当時私は合併前の大三島町長をしていました。その時の地震対応に関して冷静にしかも的確な行動が取れたかなと思っています。それは、皆さんもよくご存知の元総務大臣、当時の片山善博鳥取県知事が2000年に発生した鳥取西部地震の教訓を題材としたフォーラムを開催してくれました。日本中の首長にご案内をいただき、私はそこでしっかりと心構えができていたことが良かったと今も思っています。

防災でよく耳にする言葉に、自助・共助・公助という言葉があります。自分で自分を助けることが自助、家族や地域コミュニティで共に助けあうことが共助、行政による救助・支援が公助です。大きな災害では、多くの場合市内全域で道路が寸断され、水道などの生活イン



フラが麻痺します。我々行政が駆けつけるまでに時間を要することが想定されます。公助が到達するまでの間を、自助・共助で乗り切っていただきたい。そのために日頃から防災訓練などを通して、実践や必要な知識の習得などの準備をしておいてもらいたい。そのサポートは市の防災危機管理課、消防などでしっかりやっていきます。

皆さんには、これからも機会を捉えて防災について学んでもらって、家の中では、家具などを固定しておいて、いざという時には、まず自分が無事であること、そして家族が無事であること、そして次には、自分の仲間を、自分の住んでいる地域を守る共助の一員となってもらいたいと願っています。

本市の防災対策については、総務部長からお答えしますので、よろしくをお願いします。

#### ○渡辺英徳総務部長

熊野洸太議員質問の「南海トラフ地震の防災対策について」に関して、「南海トラフ地震で予想される被害や二次災害」そして「今治市の防災対策」についてお答えします。

南海トラフ巨大地震による被害想定は、愛媛県が平成 25 年 12 月に「愛媛県地震被害想定調査」において公表しています。この報告書によると、市の広い地域で震度 6 弱、地盤の軟弱な地域で 6 強の揺れが想定されています。この地震に伴う建物被害は、全壊約 9 千棟、死者約 640 人、負傷者約 4,600 人と想定されています。津波の到達時間は 161 分後で、最高津波水位は海拔 3.3 メートルと想定されています。

二次災害については、地震により地盤が緩み、その後の大雨による土砂崩れや浸水、阪神淡路大震災の火災の主な原因となった停電復旧後の通電火災などが考えられます。

今治市では、「今治市地域防災計画」を定めて、様々な災害から、市民の生命、身体および財産を守る備えを行なっています。一例ですが、ハード面では、皆さんが 1 日の大半を過ごし、また災害発生時には避難所となる学校施設の耐震補強を行っています。また、非常食、水、毛布や資機材などを、旧市内は地域の拠点となる学校に、旧郡部は各支所に計画的に備蓄しています。

ソフト面では、市の防災担当者が自治会や自主防災組織、学校、各種団体などにお邪魔し、地域や家庭でできる日ごろの備えなどについて話し合ったり、防災訓練のお手伝いを行なっています。

今年も防災の日である 9 月 1 日にシェイクアウト訓練を行ないます。これは、頭を低くして机の下に身をおくなどの、たった 1 分間の安全確保行動訓練ですが、みんなで危機意識を共有し、防災について考えるきっかけづくりになればと考えています。非常持出し袋の準備や避難場所、避難経路の確認や連絡方法など、防災について家族で話し合う機会を、皆さんが率先してつくってもらいたいと思います。

以上です。

#### ○長井應利子ども議会議長

熊野洸太議員。



プルタブを集めて車椅子を贈る活動など、地域貢献に対する近見中学校のみなさんの熱い思いが伝わってきました。

そして、えひめ国体に向けての活動をヒントに、今治のためにできることはないかという申し出、大変うれしく思います。郷土を愛し郷土を支えようとする思いのみならず、実行力も備えている。本当に頼もしい限りです。

瀬戸内しまなみ海道を訪れる海外からのサイクリストのために標識を作りたいというアイデアは、しまなみ海道自転車道の玄関口である地域で、外国人サイクリストを日頃から多く見かけている近見中学校ならではの提案だと思います。

政府は、2020年に訪日外国人観光客、いわゆるインバウンド旅行者を4000万人まで増やすことを目標としています。この瀬戸内しまなみ海道地域にも、多くの海外からの旅行者やサイクリストの来訪が予想されます。地元の中学生のおもてなしの心が表れた案内看板が、海外からのサイクリストの再訪につながれば、大変ありがたいと思います。設置については、どのような内容のものを作成するのか、設置を希望する場所が市道なのか県道なのか、若しくは国有地なのか民間の土地なのか、その所有者や管理者等関係機関との協議になると思いますので、よく検討して、市の観光課に相談していただければと思います。

中学生が地域のためにできることについては、教育長からもお答えしますので、よろしくをお願いします。

#### ○高橋実樹教育長

渡邊遥佳議員ご質問の「中学生が地域のためにできることについて」に関しまして、お答えします。

近見中学校では、地域の方の支えを受け、安心して学校生活を送っています。それに応じて、生徒会を中心として地域に愛される学校づくりを目標に頑張っていることは大変すばらしく思います。そこで、近見中学校生徒会がいろいろなボランティア活動に携わっていると聞いています。今行っていることやボランティア活動をすることの意義を市内の各中学校に向けて発信するというのはいかがでしょうか。近見山大清掃でも、近見中学校が中心となって取り組んでくださったおかげで、今治のシンボルである近見山が大変美しくなりました。この活動のように、近見中学校がリーダーシップをとり、他の中学生とともに今治市のために自分たちにできることについて是非考えてほしいと思います。

期待しています。

#### ○長井應利子ども議会議長

渡邊遥佳議員。

#### ○渡邊遥佳議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。



○長井應利子ども議会議長

以上で、渡邊遥佳議員の一般質問を終わります。

次に、20番大西中学校矢野穂月議員。



○矢野穂月議員

大西中学校3年矢野穂月です。私は、造船業の活性化のための取り組みについて質問いたします。

私達が住んでいる今治には造船会社がたくさんあります。今では造船のまちといわれるほど全国でも有名です。また、バリシップなどで造船業への親しみも広がっていると思います。以前、父の会社の船の見学会に行きました。海に浮かんでいる所しか見たことがなかったのので間近に見ることができ、階段が意外と急だったり、見たことのない機器がたくさんあって船の内部の複雑さを知ることができました。

私はこのような行事に参加する人を募って船の良さを広げていくべきだと思いました。その為、さまざまなイベントを増やしてみてもはどうでしょうか。今後、造船業をより活性化していくために具体的な計画はありますか。

以上で質問を終わります。よろしくお願いいたします。

○長井應利子ども議会議長

答弁を求めます。

○菅良二市長

大西は新来島どっくをはじめ、造船のまちで関連会社がたくさんあります。そういった中で大西中学、矢野、竹松両議員。竹松議員は生徒会長、矢野議員は生徒会の書記、2人が力を合わせて生徒会活動をリードしているんだなと思っておりますし、特に矢野議員、陸上にも。竹松議員はサッカー部の主将として、大西のサッカーのレベルは非常に高いですが、ひっぱりつけているその代表2人のうち、矢野穂月議員ご質問の「造船業の活性化のための取り組みについて」に関しまして、お答えさせていただきます。

本市は、造船業のほか、海運業、船舶用機器メーカーなど海事産業が集積した日本最大の海事都市です。これまで、造船会社などの協力を得ながら2年に1度、国際海事展「バリシップ」を開催していますが、回を重ねるごとに参加企業が増えております。昨年は、世界17の国と地域から313社の出展がありました。さらに認知度を高め、市民の皆さんにも海

事産業についてもっと知ってもらうため、工場見学会や進水式の見学会を実施し、延べ6万人にご参加いただきました。矢野議員も、以前に訪れたお父さんの会社の船の見学会では様々な驚きや感動があったものと思います。特に小さな子どもや皆さんのような若い世代に今治の海事産業の魅力を知ってもらい、興味を持ってもらうため、企業のご協力を得て、進水式や会社見学会に多くのご参加をいただけるよう引き続き取り組んでいきたいと考えています。造船業を活性化させるためには、古くから受け継がれてきた造船の優れた技術を若い技術者が継承し、そこからさらに国際競争力のある新しい技術を創り出していくことが、最も重要なことだと考えています。

このため、本市では、造船業の若手人材の育成を積極的に支援しており、熟練の技術者から直接技術を若手に伝授する場を設けたり、また本年4月に新設された今治工業高校の機械造船科や地元造船業界と連携し、将来の造船業を担う人材の育成に力を入れています。こうした取り組みを積み重ねていくことで、将来必ず今治の造船、海事産業が世界一になるものと確信しています。

本日も出席の議員の皆さんや中学校の仲間から一人でも多く、本市を支える海事産業を目指す方が生まれ、国際的な舞台で活躍していただければ大変うれしく思います。

もちろん、海事産業に限ったことではありません。皆さんがこれから多くのことを学び、大きく成長して将来この今治市へ戻り、様々な分野で活躍され今治の未来を築いていただくことを願い、私の答弁といたします。

○長井應利子ども議会議長

矢野穂月議員。

○矢野穂月議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○長井應利子ども議会議長

以上で、矢野穂月議員の一般質問を終わります。

次に、5番立花中学校阪部泰成議員。



○阪部泰成議員

立花中学校3年阪部泰成です。私は、学習環境ICTの充実について質問します。

先日、テレビでタブレットを使って小学生が授業を行っているのを見ました。

小学生は漢字の筆順や計算問題をタブレットに書き込みながら学習を行っていました。小学生一人一人が意欲的に学習する姿を見てタブレットを使った学習は、大変便利で分かりやすいのだなと感じました。

興味を持ったので、担任の先生に「立花中学校でもタブレットが授業で使われるときがきますか？」と尋ねました。「近い将来はどの学校にも導入されると思うけど、電子黒板も学校に1台しかない状態なのでまだまだ先の話ではないか。」とおっしゃいました。

私は将来、パイロットになりたいと考えています。そのために、いろいろな新しい学習機器による知識の習得に大変、興味、関心があります。そこで質問ですが、今治市の学校でタブレットが導入される予定はありますか。教えてください。よろしくお願いします。以上で質問を終わります。

○長井應利子ども議会議長

答弁を求めます。

○菅良二市長

立花中学からは、質問した阪部議員、それから伊東議員、来てくれています。2人とも生徒会の正副会長。学校全体をしっかりとリードしてくれておりますし、あの阪部君皆さんご覧になって、最初のトップバッターの松田君とは全然違う感じではありますが、実は彼、昨年空手日本一。しかもすごいんですよ、走り幅跳びも一番、三段跳びは二位と、大変なスポーツマンであります。そして伊東議員の方はソフトボールキャプテンとして頑張っている、まさに立花中学のリーダー中のリーダー、代表して今日来てくれています。

阪部泰成議員ご質問の「学習環境（ICT）の充実について」に関しまして、お答えさせていただきます。

阪部議員、先ほど申し上げましたが、空手で、大変優秀な成績です。世界大会にも出場した。日頃の鍛錬の賜物であり、並大抵の努力では成し遂げられない事だと感心しております。そしてパイロットを目指す。かなり頭脳も必要としますからこれからも文武両道しっかり目指し実現してほしい。こういった若者が、これからの今治、ひいては日本を引っ張っていつてくれるのだらうと思います。若い皆さんのこれからの活躍を期待しています。

さて、タブレット端末を使った学習環境に関して何より大事なものは、どんな目的を持って、どんな授業を行うかということです。タブレットにはいろいろな種類があり、それに対応した学習用ソフトウェアの種類もたくさんありますので、その選定が大切です。

また、タブレット端末は無線LANを経由して、学校内にあるサーバーやインターネットに接続しますので、個人情報の保護やコンピュータウィルスへの対応も必要です。

そのため、本年度から、北郷中学校、波止浜小学校、波方小学校の3校で21世紀型スキル教育の実証研究事業に取り組んでいます。さらに、愛媛大学教育学部から借り受けたタブレット端末を活用し、教育現場での活用方法など、ICT環境のあり方の検証も進めています。

これらの結果を参考にして、小中学校のICTの整備がより効果的に行えるようタブレットの導入・活用を進めていきたいと考えています。

以上です。

○長井應利子ども議会議長  
阪部泰成議員。

○阪部泰成議員  
ありがとうございました。これで質問を終わります。

○長井應利子ども議会議長  
以上で、阪部泰成議員の一般質問を終わります。  
次に、21番菊間中学校吉田龍生議員。



○吉田 龍生 議員

菊間中学校3年吉田龍生です。私は、地球温暖化について質問します。

最近暑いと感じることが多くなり、世界中を見ても、異常気象によるニュースが流れています。いたるところで災害がおき、たくさんの尊い命が犠牲になっています。次は、僕たちの住んでいる今治が災害にあうのではないかと不安にもなります。また身近なことでは、僕たち中学生が部活動中に熱中症になったというニュースを聞いたり、子どもやお年寄りの方が熱中症で病院に搬送されたというニュースをよく聞きます。昔は、今ほど日差しも強くなく、気温も高くなかったと親世代が言っていました。世の中が便利になっている一方で、その弊害の代償が大きいのかと思います。

これから先の日本を考えたとき、ぼくたち一人一人が地球温暖化について積極的に考える必要があります。そこで、今治では地球温暖化への対策としてどのようなことを行っているか教えてください。また、ぼくたちにもできることがあるはずで、以上で私の質問を終わります。

○長井應利子ども議会議長  
答弁を求めます。

○菅良二市長

菊間中学、吉田龍生議員、渡部理央議員、お二人生徒会の正副会長。それから吉田議員は野球部キャプテン、それから渡部議員はテニス部のキャプテン、二人ともまさにリーダー中のリーダー、特に先般の12の市町村が合併して、一番最初の戦没者追悼式が菊間でありましたが、その時にご遺族席の皆さんが本当に涙していたそれはまさに合唱、中学3年生その指揮者が吉田議員であった。マルチ人間だなどと思っておりますけど、本当に感心したのは、男子が女子に負けてなかった。バスが非常に私どもの耳に入りました。これからもしっかりと菊間中魂を今治中に広めていただきたいと率直に感じました。

吉田龍生議員ご質問の「地球温暖化問題について」に関しまして、お答えをいたします。

本市では、「今治市総合計画」の7つの施策の大綱の一つに、「美しい地球を未来につなぐまちづくり」を掲げています。

本市の地球温暖化対策の取り組みの一例として、私の乗る市長車にはハイブリッドカーを採用し、公用車にも四国で初めて天然ガス車を導入するなど、低公害車の普及に努めているほか、毎月「ノーマイカーデー」を実施し、通勤時の公共交通機関や自転車の利用を促進しています。

また、現在、市内のごみ処理施設を一つに集約するため新施設を建設中です。平成30年4月稼働を目指しております。新しい施設ではごみ発電を行うこととしています。そして、公共施設を新設また改修する際には、照明を蛍光灯からLED照明に切り替えるなど、省エネ効果の高い機器への転換を図っています。

省エネルギーのため、「クールビズ」「ウォームビズ」を実践し、本日もご覧の通りですが、5月から10月の期間はノーネクタイとし、冷房の温度設定は28度を目標としています。さらに、資源の循環を図る意味で、使用済の天ぷら油などを原料とするバイオディーゼル燃料を入れた車両で資源ごみの回収を行っています。

これらは、市自ら行っている事例ですが、最も大切なことは、市民一人ひとりによる取り組みです。まずは、子どものときから環境問題への理解を深めてもらうため、しまなみアースランドの今治自然塾では、環境教育プログラムを実施しています。皆さんもおそらく小学5年生のときに受講されたと思います。今回はさらにスキルアップして、FC今治の岡田オーナーにしっかりとこのアースランドを日本全国に発信できるそういう役割をになっていただくこととなりました。リサイクルフェアや環境フェスティバルなどを開催して、資源の循環やごみ減量の啓発を図るとともに、エコライフコンテストを実施し、市民の皆さんが日常生活の中で創意工夫を凝らし、取り組んでいる事例やアイデアを募集しています。昨年度は宮窪小学校6年生の、海のごみをなくすための「私たちの島の新聞」の発行が最優秀賞を受賞しました。

中学生の皆さんご自身が、学校や家庭の中で取り組めることが沢山あると思います。市の広報やホームページにも先ほど紹介した制度や事例、また、誰でも参加できる「こどもエコクラブ」の募集なども紹介されています。

ぜひ、今後の実践に活かしていただき、吉田議員をはじめとする中学生の皆さんの取り組みが地球温暖化防止への一歩となることを願い、私の答弁といたします。



○長井應利子ども議会議長  
吉田龍生議員。

○吉田龍生議員  
ありがとうございました。これで質問を終わります。

○長井應利子ども議会議長  
以上で、吉田龍生議員の一般質問を終わります。  
次に、8番桜井中学校渡部颯太議員。



○渡部颯太議員

桜井中学校3年渡部颯太です。僕は、桜井地域の活性化について質問をします。

僕の住む桜井地域は、豊かな自然に恵まれ、歴史と文化が息づいた土地です。日本の渚100選に選ばれた白砂青松の美しい唐子浜海岸、国指定の名勝地とされ、松原百景にも指定された志島ヶ原、菅原道真公ゆかりの綱敷天満宮などは有名です。中でも四国霊場59番札所になっている国分寺は、四国八十八ヶ所巡りで毎日多くの参拝客が訪れます。近くには休憩所や販売店などがあり、賑わいを見せています。しかし、長沢方面にある蛇越池は、あまり整備がされておらず、休憩所などありません。蛇越池は湿地になっており、貴重な湿地植物のサギソウが生育しています。県の絶滅危惧種のものも存在するそうです。これらを整備することで、貴重な植物を守り、有名な観光名所にすることができると思います。また、桜井の特産品である桜井漆器も、もっとアピールすれば活性化できるのではないかと思います。これらの整備、活性化していくような計画はありますか。以上で僕の質問を終わります。

○長井應利子ども議会議長  
答弁を求めます。

○菅良二市長

桜井中学、渡部颯太議員、高橋哲浩議員、二人はコンビ。かなり身長差はあるようだけれども、硬式テニスで中学校総体ナンバーワン。素晴らしいこの名コンビで今日は代表して、渡部議員が発言をしております。これからの二人の活躍を祈っております。

渡部颯太議員ご質問の「桜井地域の活性化について」に関しまして、お答えいたします。

桜井地域は海、山と豊かな自然に恵まれ、古くからの歴史・文化が息づいたエリアであります。また、今治小松自動車道の今治湯ノ浦インターチェンジは、本市の東の「玄関口」として重要な機能を有しています。

桜井海浜ふれあい広場では、岡田武史オーナー率いるFC今治のホームゲームや「BARI CUP」などの少年国際サッカー大会が開催されており、様々なメディアに取り上げられることで、本市の情報発信にも大きく貢献していただいています。そして、隣接する湯ノ浦地区では、平成27年から地域の皆様がオフロードバイクの大会である「今治湯ノ浦温泉シクロクロス in 桜井」を開催するなど、スポーツ・レクリエーションの面でも脚光を浴びております。

サギソウを含む蛇越池の湿地植物は、昭和25年に愛媛県指定の天然記念物となり、昭和45年以降、地元愛護班の皆さんを中心に除草作業などの保全に努めていただいています。

平成2年度からは、桜井小学校、今治南高校の児童・生徒や先生方、NPO法人や地域の方々のご協力をいただき、サギソウの育成・定植など「湿地植物保護育成事業」に取り組んでいただいております。湿地植物を説明する立て看板や木製の通路などを設置し、間近で観察できる環境整備を行っていますが、湿地植物はとてもデリケートで、少しの環境変化でも影響を受けてしまいます。休憩所などの施設整備については、湿地環境の保存と公開のバランスを考慮し、専門家や地域のご意見もお聞きしながら進めていきたいと考えています。

次に、桜井漆器は、今治地域の伝統的な地場産業であり、最近では、漆器の技法を用いて自転車のフレームに蒔絵を施したり、同じく伝統工芸品である菊間瓦に、上塗り、蒔絵を施し、花を生ける花器、コースターを制作するなど、異種産業とのコラボレーションにより新たな事業展開を図り、メディアを通じて話題を提供しています。

本市においても、外国からのお客様が訪問された際のお土産品として活用し、海外に情報発信しています。

こうした素晴らしい地域資源や伝統工芸品は、桜井地区のみならず、今治市全体の「宝」として効果的にPRすることで、本市の観光振興と地域の活性化、そしてブランドイメージの向上につなげていきたいと考えています。

以上です。

○長井應利子ども議会議長  
渡部颯太議員。

○渡部颯太議員  
ありがとうございました。以上で質問を終わります。

○長井應利子ども議会議長  
以上で、渡部颯太議員の一般質問を終わります。  
次に、23番大島中学校亀石彪太郎議員。



○亀石彪太郎議員

大島中学校3年亀石彪太郎です。僕は、少子高齢化に伴う社会保障対策について質問します。

少子高齢社会と言われ始めてからもう久しくなりますが、私たちが住んでいる今治市も少子高齢化の波が押し寄せてきています。統計によると2040年には、人口が今よりも約5万人減少し、人口の2.5人に1人は65歳以上の高齢者になるということです。また、出産や子育ての中心となる20～39歳の女性の人口は約9,400人となり、2010年と比べると約45%の減少だそうです。

今治市の発展を長期的な視点で考えると、高齢者にとって住みよい社会の実現や子育ての支援が重要になってきます。特に、高齢者への医療や介護の充実はもちろん、地域ぐるみで高齢者のくらしを支える仕組みづくりが重要だと考えています。

この課題は、国の政策と密接な関係があると思いますが、今治市としてはどのように考え、どのような施策を実行しているのか、また、実行する予定があるのかをお聞きしたいと思います。よろしくお願いいたします。以上で僕の質問を終わります。

○長井應利子ども議会議長

答弁を求めます。

○菅良二市長

合併しました吉海中学、宮窪中学、亀石議員、藤本議員、二人とも合併して2年目。随分慣れてきたかなと思いますし、お二人とも亀石議員は卓球部、藤本議員はバレーボール部。しかもキャプテンとしてチームをまとめてくれております。また、クラスを2人ともしっかりとリードしてくれているということでたいへん貴重なお二人議員であります。

代表しての、亀石彪太郎議員ご質問の「少子高齢化にともなう社会保障対策について」に関しまして、私からお答えさせていただきます。

日本は、諸外国に例をみないスピードで少子高齢化が進行しています。本市も例外ではなく、出生数も減少し、高齢者の数は合併後10年で4万4千人から5万4千人に増え、高齢化率は約33%になっています。平成26年度に行った今後の暮らし方に関するアンケートで、介護認定を受けている高齢者の約6割が「できる限り現在の住まいや地域に住み続けたい」と答えました。この希望をかなえるためには、病院や施設に入所しなくても、地域で医療・



介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムと言われる仕組みづくりが必要です。困ったことがあっても、地域の人たちと協力しながら、住み慣れた家で生活ができる地域を是非、作っていかねばならないと考えています。

高齢者にできるだけ元気で過ごしていただくため、転倒予防や認知症予防などの教室や健康相談、健康診断を開催しています。亀石議員が学んでおられる、大島中学校のある吉海地域では、昨年度、転倒予防や健康相談の教室に延べ 1,339 名の参加がありました。そのほか、施設でボランティアをしたときにポイントがたまる介護支援ボランティア制度や老人クラブ活動への助成なども行っています。

今後は、地域ぐるみで高齢者のくらしを支えるため、ちょっとした調理や清掃などは、介護の専門家ではなく、地域住民やボランティアなど元気な高齢者が支援の担い手として活躍していただくシステムを作りたいと考えています。

こうした仕組みづくりには時間がかかりますが、誰もがずっと住み続けたいまちにするため、これからの今治市を担う中学生の皆さんには、柔軟な頭脳で少子高齢化と社会保障について大いに考えていただき、地域で自分たちにできることから取り組んでもらいたいと思います。

中学生の皆さんの活動が、皆さんの笑顔が地域を明るくします。ちょっと話しかけてください。高齢者、嬉しいんです。明日も頑張るぞという気持ちに。それは皆さんの手に掛かっています。役割大きいと思っております。これからの活躍を心から期待し、私の答弁といたします。

○長井應利子ども議会議長  
亀石彪太郎議員。

○亀石彪太郎議員  
ありがとうございました。これで質問を終わります。

○長井應利子ども議会議長  
以上で、亀石彪太郎議員の一般質問を終わります。  
次に、10 番南中学校赤松美咲議員。



○赤松美咲議員

南中学校3年赤松美咲です。私は、仕事と介護の両立について質問します。

日本は高齢化が進み、介護が必要な高齢者が増えています。その影響で介護のために仕事をやめざるを得ない人がいるということを知りました。実際、私の知り合いに仕事と介護、子育ての両立に苦労している方がいて、私自身も将来仕事と介護の両立ができるのか不安でなりません。

さらに、介護施設を利用したくても満員であったり、経済的な理由からヘルパーなどを雇えなかったりして、その結果、やむなく退職する人が多いそうなのですが、今治市の現状はどのようなのでしょうか。

福岡市では「働く人の介護サポートセンター」という仕事と介護の両立を支援する専門の相談窓口が設置されているそうです。

今治市でもそういった取り組みを進め、介護施設や介護支援金などを増やすことで仕事と介護の両立がより一層実現できるようになってほしいです。今治市における現状と取り組みについてご教示いただけると幸いです。以上で私の質問を終わります。

○長井應利子ども議会議長

答弁を求めます。

○菅良二市長

元気のいい声でした。じっと見ておりますと、さすがだなと。バレーボール皆さんご覧になって、あんまりバレーボールのイメージ、なんかこう非常に身長のあるイメージがありますけれども、彼女はレシーバーとしてチームを引っばっている、そういうお話を聞きました。南中といえば昨年今治小松の朝倉インターから今治インターへ向けての起工式。その時に吹奏楽、雨の中でしたけれども、みんな一生懸命に演奏してくれて嬉しくて、本当にありがたくて卒業式には私も出席させていただきました。元気な南中、そして西本議員は陸上の短距離、南中の400メートルリレー優勝じゃなかったかな。非常にレベルの高いその中で活躍をしてくれております。2人とも学校をしっかりまとめる役割を担っていることに大変感謝申し上げます。

赤松美咲議員ご質問の「仕事と介護の両立について」に関しまして、私からお答えさせていただきます。

赤松議員が社会人として活躍されているであろう2025年（平成37年）、ちょっと想像してみてください。には、団塊の世代の方が全て75歳以上となり、社会保障費の急増が懸念されています。これは、2025年問題といわれ、この年、本市でも人口に占める65歳以上の高齢者の割合が約35%になり、超高齢社会を迎えると予想されています。

国は、女性も男性も、お年寄りも若者も、あらゆる場でだれもが活躍できる、一億総活躍社会を実現するため、介護をしながら仕事を続けることができるよう、「介護離職ゼロ」という目標を掲げています。全国で介護離職者は約10万人、そのうち約6万人は、仕事を続けたかったがやむを得ず離職しています。本市においても、「介護離職ゼロ」を目指すため、

介護施設の整備や仕事を持つ家族介護者に対する相談・支援窓口の充実を図っているところです。

また、施設整備だけではなく、介護サービスを支える側の人材確保も重要な問題です。2020年初頭までに介護人材は全国でなんと約25万人不足すると推測されています。世界でも類をみない高齢化に対応するため、医療・介護の連携など住み慣れた地域で安心して生活できる社会の構築は、本市に限らず国を挙げて取り組まなければならない喫緊の課題です。ここに関心をもって質問をされた赤松議員や他の若い皆さんにも、ぜひ興味をもって考えてほしい大事な問題だと思います。

本市の具体的な施策については、健康福祉部長からお答えしますので、よろしく申し上げます。

#### ○村上伸幸健康福祉部長

赤松美咲議員ご質問の「仕事と介護の両立について」お答えします。

まず、いわゆる介護離職の現状について、今治市の統計はありませんが、全国で約10万人介護離職者がいることから、人口比で推計しますと当市でも100人を超える介護離職者がいるのではないかと考えています。

仕事を持つ家族介護者に対する相談・支援の窓口として、介護サービスの利用や介護に関する悩み・心配事等を相談できる「地域包括支援センター」を市内6か所に置いています。広報今治などを通じて周知し、利用しやすい窓口となるよう体制の充実を図りたいと考えています。

次に介護施設については、要介護度の重い方が入所する特別養護老人ホームは、現在市内に15か所ありますが、今年度2か所整備しています。また、認知症の方が入居するグループホームは、現在25か所ありますが、新たに3か所整備しているところです。

介護支援金について、在宅で要介護3以上の高齢者を介護されている方には介護激励金を、寝たきり等の方には紙おむつなどの介護用品を支給しています。他市と比べて遜色ない制度となっていますので、増額等については現在考えておりません。

介護負担の軽減や介護人材の確保については、介護ロボットの導入支援や介護職員の処遇改善にも取り組んでいるところです。仕事と介護の両立が図られるよう、引き続き「介護離職ゼロ」に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。

以上で答弁を終わります。

#### ○長井應利子ども議会議長

赤松美咲議員。

#### ○赤松美咲議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○長井應利子ども議会議長

以上で、赤松美咲議員の一般質問を終わります。

ここで休憩を取りたいと思いますが、会議再開後の議長は、日吉中学校の田窪琴美議員にお願いします。

しばらく休憩をします。

会議の再開は、15時50分です。



○田窪琴美子ども議会議長

それでは、会議を再開します。

ここから議長をつとめます、日吉中学校の田窪琴美です。

よろしくお願いします。

一般質問を続けます。

次に、26番伯方中学校脇本愛里議員。



○脇本愛里議員

伯方中学校3年脇本愛里です。私は、通学路の街灯と路面の整備について質問します。

私たちが住んでいる伯方島は、海、山に囲まれていて自然豊かな島です。島には中学校が1校しかなく、生徒は島の各地域から自転車で登校しています。その際、気になっていることが街灯と路面の状態のことで、街灯は人があまり住んでいないところは少なく、下校時は暗いので危険です。路面はアスファルトのひび割れが多く危険です。

私たちは、ジュニアサポーター研修で高齢者のことについて学びました。車椅子体験で、

普段気にもとめない小さな段差や坂が大きな負担に感じること、高齢者疑似体験では、視野が狭くなったり、色が分かりにくくなったり、また、手足が自由に動かなくて少しの段差でもつまずいてしまうことを体験しました。伯方島は高齢化が進み、高齢者の方が多くおられます。私たちの安全だけでなく、伯方島に住んでいる全ての人々が安全で暮らしやすい島になってほしいというのが、私たちの願いです。

以上のことを踏まえ、通学路の街灯と路面の整備をお願いします。以上で私の質問を終わります。

○田窪琴美子ども議会議長

答弁を求めます。

○菅良二市長

伯方中学、脇本、児玉両議員が今日出席いただいております。2人とも随分共通しているなあと、生徒会の中核的な役割、それからソフトテニス男女それぞれ特に女子がなぜここまで強いのか、七不思議のひとつだと思っておりますが、きっとキャプテンの脇本議員が随分と引っ張っていつているんだらうなどと思っております。いよいよ伯方名物の夏祭り、土曜日13日ですかね、ちょうどあの日は朝倉、玉川それから南中管轄の富田、それぞれ納涼盆踊り大会がありまして、そして脱兎のごとく伯方へ向かって行きたい。はたして間に合うかなと、でもやっぱり是非行かせてもらいたいと思っております。

脇本愛里議員ご質問の「通学路の街灯と路面の整備について」に関しまして、お答えいたします。

道路に設置されている街灯と呼ばれるものには、道路管理者が設置している道路照明灯と、自治会が設置している防犯灯があります。道路照明灯は、県道は愛媛県が、市道は今治市が設置していますが、交差点での事故を防ぐため、横断歩道のある交差点などに設置しています。

防犯灯については、自治会等に対し設置費用と電気料金の補助を行っています。自治会の負担や市の予算の制約がありますので、十分に設置されていないことも考えられますが、必要性の高いところから補助制度を有効に活用していただきたいと思っております。

次に、「路面の整備について」ですが、現在通学路として利用されている道路には、国道、県道、市道、あるいは農道などがあり、それぞれの道路の管理者が責任を持って管理を行っています。道路の不具合には、ひび割れのほか、陥没、段差などがありますが、陥没は自動車や自転車の車輪が取られ転倒事故や接触事故などを誘発することにもなりかねませんので、早急な対応が必要となります。

また、経年劣化によるひび割れや路面のたわみなどが発生した箇所については、舗装改良が必要となってきます。

現在、市道だけでも約1,500キロメートルを超える延長があることから、なかなか修繕が進んでいるように感じられないかもしれませんが、各地区からの要望や損傷の度合いなどを踏まえ、優先順位をつけて順次実施しているところです。



伯方島に住んでいる全ての人々が安全で暮らしやすい島になってほしいという脇本議員の願いは、同様に今治市民共通の願いです。市民の誰もが、安全・安心で快適に暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。

防犯灯の整備については、市民環境部長からお答えしますので、よろしくお願いします。

○白石卓夫市民環境部長

脇本愛里議員ご質問の「通学路の街灯と路面の整備について」のうち、防犯灯の整備についてお答えします。

伯方地区の防犯灯は、平成 27 年 12 月現在、契約件数が 610 件ということですので、数としてはそれ以上の防犯灯が設置されています。防犯灯新設等へは、現在、地区自治会に対して、一地区当たり 5 件の市からの補助枠があり、伯方地区では昨年度 4 件の新設と 1 件の交換が実施されました。地区自治会が優先順位をつけて、より有効に防犯灯を設置していただいているものと考えています。暗くて必要と思われる場所がありましたら、自治会にお話いただき、地区自治会の要望として市に申請していただければ、対応したいと考えていますのでよろしくお願いします。

以上です。

○田窪琴美子ども議会議長

脇本愛里議員。

○脇本愛里議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○田窪琴美子ども議会議長

以上で、脇本愛里議員の一般質問を終わります。

次に、12 番西中学校西原紀花議員。



○西原紀花議員

西中学校 3 年西原紀花です。わたしたちからは、今治ブランドに関する質問をさせていただきます。現在、今治タオルのブランド化が成功し、その高い品質が国内外でも評価され、多くの人に親しまれています。しかし今治には、菊間瓦や桜井漆器などの伝統工芸品や伯方

の塩などの食分野においても、今治ブランド化するに値する高品質な産業製品があると思っています。今後、タオルに続いて他の製品も今治ブランド化する計画はあるのでしょうか。

また、今治ブランドについて提案したいことがあります。ブランドというと「製品」といったイメージがあるのですが、「モノ」だけでなく「今治のまち全体」をブランド化するという案はどうでしょうか。地方の小さな都市でありながら、バリシップやサイクリング大会などで世界中から多くの人が集まり、ワンランク上の産業製品に始まり、ゆるきゃらや B 級グルメなど親しみやすい分野まで、多彩な魅力にあふれるまち、今治。都市の活性化をめざす各地の自治体にとっての「モデル都市」としての存在をアピールできると思います。わたしたち中学生が自慢でき、誇れるまち、将来も住みたいまちづくりについての今治市のお考えを教えてください。以上で質問を終わります。

○田窪琴美子ども議会議長

答弁を求めます。

○菅良二市長

大規模校西中。この西原議員、生徒会長。将来東京都知事目指せるかなと。そんな美貌を兼ね備えておりますけれども、廣瀬議員が副会長。共々に 2 人がコンビを組んでしっかりと西中という大きな船を動かしているんだなど。それから西原議員は、陸上競技部のキャプテンでチームをまとめている。また、それと対照的に廣瀬議員が水泳部。こういった形で今日、2 人が臨んで来ています。代表して、西原紀花議員ご質問の「今治ブランドを国内外さまざまな場所に広めるために」に関しまして、お答えいたします。

昨年 4 月、産業部に営業戦略課を新設しました。営業と言うと企業のセールスのように思われますが、タオルや物産、食などの売り上げ拡大を図るだけではなく、企業誘致や市のイメージアップ戦略も展開しています。今治ブランドを創り上げ、国内外に売り込むシティプロモーションの取り組みです。

これは、国内外へ独自の魅力を戦略的かつ効果的に P R するシティプロモーション活動を展開することによって、①本市の魅力を国内外の方々に知ってもらい認知度をアップ、②本市のものづくり度の高さを知ってもらい、信頼度を高めることで好感度をアップ、③今治ブランドの定着と今治ファンの育成拡大による愛着度アップの 3 つを実現しようとするものです。

8 月最終週には、日本を代表する各界の有識者や著名人、そして日本中から若手社会人や大学生・高校生が今治に集い、数々の刺激的なセッションを通じて、心の豊かな未来を担う人材を育成するバリチャレンジ ユニバーシティの開催を予定しています。

そのほかにも、情報発信力の強い首都圏でシティプロモーションビデオやフリーペーパーを放映・配布したり、YouTube やフェイスブックなどの SNS を活用して様々なターゲットに情報発信する取り組みも進めています。そして、食の分野でも、今治タオルのブランディング手法を用いて新たに食のいまばりブランドを創るための組織を立ち上げます。

このように、いろいろな視点からシティプロモーションを展開して今治を知ってもらい、

今治ファンを増やすとともに、地域資源を磨き上げ、戦略的に売り出すことで今治ブランドとして確立させようとしています。

インターネットが使える方は、**YouTube** で「イザイマバリ」と検索すると誰でもシティプロモーションビデオが使えますので、ぜひ情報発信してください。中学生の皆さんもいっしょに、オール今治でシティプロモーションに取り組み、多くの人や企業に今治に来てもらい、住んでもらうことでまちの活力向上につなげていきたいと考えています。菊間小学校出身で、今、三井物産の社長、安永竜夫さんが何か今治のために役に立つことをしたいというお話をいただきました。そして昨日の事なんです。中学、高校と野球選手でしたが、三井住友銀行の今営業本部長としてお帰りいただきまして、市長室に来ていただきました。そして自分ができることは一生懸命したいというお話もしていただきました。いろんな今治市の出身の方々が故郷今治を想ってくれています。そういう声をしっかりと、私ども大切に受け止めさせていただきこれからも今治全体をブランド化するという大変素晴らしいアイデアをいただきました。一生懸命取り組んでまいります。これからも皆さんよろしくお願いいたします。以上です。

○田窪琴美子ども議会議長  
西原紀花議員。

○西原紀花議員  
ありがとうございました。これで質問を終わります。

○田窪琴美子ども議会議長  
以上で、西原紀花議員の一般質問を終わります。  
次に、27番大三島中学校越智堅太郎議員。



○越智堅太郎議員

大三島中学校3年越智堅太郎です。僕からは、しまなみ海道沿線における交通手段について質問させていただきます。

僕は現在、大三島の上浦町に住んでいます。そこから買い物や病院、部活動の試合などのため、今治に行くことが少なくありません。その際、バスを利用することもあります。運賃が片道1,080円と高いため、毎回利用することは難しいです。また、今治にある学校に通



うとすると、3ヶ月ごとの定期を利用して年間でも273,320円とかなり高額になります。島内にも高校はありますが、通学にかかる費用の面で進路選択の幅が狭まるケースもあります。

しまなみ海道を走るバスの料金には、橋の通行料もかかっていると思います。そこで、今治の病院に通うお年寄りの方や学生も利用しやすくするために、しまなみ海道の料金を下げることが可能でしょうか。大変なお願いかと思いますが、今治市民みんなが、便利に気軽に行き来できるようになればと願っております。よろしくお願いいたします。

○田窪琴美子ども議会議長

答弁を求めます。

○菅良二市長

大島中学と同じく、統合して2年目の上浦中学と、大三島中学が一緒になって新生大三島中として、その越智堅太郎議員、越智慶子議員は、生徒会の正副会長でしっかりと取り組んでくれているようであります。新しい学校です。皆さんが基礎を作ってしっかりとした羽ばたき、繋げてほしいと願っております。代表して、越智堅太郎議員ご質問いただきました「しまなみ海道における交通手段について」に関しまして、お答えいたします。

しまなみ海道が開通する前、島しょ部に暮らすみなさんは何をするにもフェリーや高速艇などの船が移動の手段でしたが、船の待ち時間、物資の運搬や救急医療などさまざまな日常生活において、今と比べるとかなり不便であったと思います。過去には、悪天候によって多数の犠牲者が出る旅客船の沈没事故が相次ぎ、これをきっかけとして本州と四国を結ぶ橋を建設してほしいという声が高まり、地域住民の悲願でありました。長い間、島しょ部をはじめ越智・今治地域に暮らす皆さんが、いつかは「夢の懸け橋を」という熱い想いを持って橋の建設運動に力を注ぎ続けました。その努力が実を結び、昭和45年に本州四国連絡橋公団が設立され、昭和50年の大三島橋の着工を皮切りに、経済情勢に左右されながらも、約30年という長い年月と約7500億円もの莫大な費用をかけて、悲願であったしまなみ海道が完成したのです。

みなさんも、しまなみ海道の開通によって、天候や時間に左右されず、いつでも海を渡ることができるようになった幸せを、また、先人のたゆまぬ努力によって、安全安心な生活を送ることができるようになったことに感謝する心を忘れないでほしいと思います。

さて、バス交通は過疎化や少子高齢化、自家用車の普及により年々利用者が減少し、非常に厳しい経営状況にありますが、市民の大切な移動手段として、これからも維持していかなければなりません。バス料金は、走行距離に応じた料金設定となっており、橋の通行料金が減額されたとしても、しまなみ海道沿線のバス料金だけが安くなるということにはならないのです。

また、しまなみ海道の通行料金については、本四高速の建設にかかった多額の借入れ金を、全国の高速道路会社で統合して負担、管理するプール制が導入されており、全国の高速道路の料金水準を整理・統一するという方針のもと、平成26年4月に現在の料金が決定されま

した。統一料金制としたことで、全国の高速道路の利用者に借入れ金の返済を背負っていただいているということも、私たち十分にご理解していかなければ、また、皆さんには理解していただきたいと思います。

市としましても、しまなみ海道が地域の皆さんにとって、ほかに代替道路のない唯一の生活道であることは十分認識しており、バス交通など生活交通手段をしっかりと維持していくとともに、生活道路としてより利用しやすい環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。

以上です。

○田窪琴美子ども議会議長  
越智堅太郎議員。

○越智堅太郎議員  
ありがとうございました。これで質問を終わります。

○田窪琴美子ども議会議長  
以上で、越智堅太郎議員の一般質問を終わります。  
次に、13番北郷中学校渡邊海都議員。



○渡邊海都議員

北郷中学校3年渡邊海都です。僕からは、国際交流についての質問が二つあります。

一つ目は、外国人観光客との交流についてです。現在しまなみ海道は、たくさんの外国人の方がサイクリングに来られるなど、世界的にも人気のある観光地になってきています。僕がサンライズ糸山に行ってみると、家族連れの外国人の方々や、ツアー客がたくさん来ていました。しかし、僕たち地域の人々が交流することがあまりないと感じました。そこで、僕たち中学生がサイクリング目的で訪れる外国人の方々と、道案内や観光場所で何らかの形で関わり、交流できないでしょうか。

二つ目は、姉妹都市との交流についてです。今治市はアメリカのレイクランドと姉妹都市であると聞いたことがあります。姉妹都市との交流についてはあまり聞いたことがありません。現在、どのような活動を行っているのでしょうか。

以上で僕の質問を終わります。よろしくをお願いします。

○田窪琴美子ども議会議長

答弁を求めます。

○菅良二市長

北郷中学の渡邊海都議員、木村美里議員と2人で来ていただいております。2人とも非常にまとめ役として優れた特性を持たれている、そういうお話を聞いておりますが、北郷は特に、先ほど伯方中の話が出ましたけれども、ソフトテニスでは随分と今、北高で活躍している選手たくさんいますし、いよいよ来年のえひめ国体にむけて、きっと何かいい、私たちにニュースを聞かせてもらえるそういう私ども期待をしております。そういったスポーツ熱心な北郷中学代表して、渡邊海都議員が質問してくれました「国際交流について」私からお答えします。

今治市は、古くから進取の気性に富み、北郷中学校の地域でも航海や交易、海運等により様々な地域との交流が盛んであります。今も波方、波止浜、両地域共非常に海運業が盛んだし、造船も本当に今治の産業の支えといえますか、底力をおおいに発揮しております。古くは、波止浜製塩業が盛んで、明治、大正時代も今治地域の長者番付といえ、この製塩業者が多数占めていた。そういう非常に先取り精神、この進取の気風のあふれた地域でありました。

ところで本市は、レイクランド市のほか、皆さんパナマ運河でもご承知のパナマ市とも姉妹都市であり、その交流は来年で40周年を迎えます。ニュース等で見た方も多いと思いますが、本年6月にパナマ運河の拡張工事が終了し、超大型船が運河を通行できるようになりました。「海事都市いまばり」にとっても、大きなメリットが生まれました。

本年4月、パナマ共和国大統領がそのPRを兼ねて日本を訪問された際に、パナマ大使館主催の昼食会に姉妹都市の市長として招待されました。さらに夜には安倍総理から総理公邸での夕食会にお招きいただいた席で、今治の外航船の実に85パーセントがパナマ船籍を取得しており、今後、パナマ市と姉妹都市としての友好関係を深めて行くことが、今治に留まらず、日本の国益にもつながるとお話しさせていただきました。

海外との交流を継続して深めていくことは、市民の国際感覚の向上や、地元経済の活性化にもつながるものであり、姉妹都市のみならず、台湾や東南アジア諸国との交流も進めたいと考えています。中学生の皆さんも、外国人観光客のために何かしてあげたい、交流をしたいという気持ちを大切に、心のこもったおもてなしで外国の方々と接していただきたいと思います。

その他詳細につきましては、産業部長からお答えしますので、よろしく申し上げます。

○安井孝産業部長

渡邊海都議員のご質問にお答えします。

ご質問のとおり、瀬戸内しまなみ海道を訪れる観光客、特にサイクリングを目的としたお客様が年々増加しており、海外からのサイクリストも大幅に増えています。今治市は昨年、

「サイクルシティ構想」を策定しましたが、その中に、本市を訪れるサイクリストと住民の皆さんの交流を通じて地域コミュニティの再生を図ろうとする「おもてなし構想」というものがあります。道案内や観光場所で何らかの形で関わり、交流できないかというご質問は、まさにこのおもてなし構想が目指す活動であります。

中学生の皆さんにもできることは沢山あると思います。例えば、外国人観光客を迎えるための地域の清掃美化活動、観光名所案内や道案内、地元の歴史や文化を紹介するチラシ等を作成し、来訪者に説明することなども考えられます。

また、愛媛県教育委員会のヤングボランティアセンターの活動の一つとして、高校生が来島海峡展望館などにおいて、観光客の記念撮影をお手伝いする「シャッターボランティア活動」というのをしていますが、この活動は年1回に限られています。そこで、その活動を皆さんが1年を通して定期的実施してみたいかと思いますが、地元ならではの心のこもった交流ができますよう期待をいたします。

次に、昨年で20周年を迎えたレイクランド市との姉妹都市交流についてでございます。これまで交互に“訪問団”を派遣し、ホームステイで文化や習慣の違いを学びながら交流を深めています。昨年は、レイクランドから高校生ら12名の訪問団が今治を訪れ、おんまくの踊り隊に参加したり、しまなみサイクリングや琴の演奏などを体験しました。

今年は、高校生ら18名が渡米してレイクランドの小・中・高等学校を訪れ、習字や折り紙、今治タオルを手に浴衣を着て「木山音頭」の踊りなどを披露する予定です。

皆さんも、高校進学後は、「レイクランド訪問団」に応募され、国際感覚を養っていただきたいと願っています。以上です。

○田窪琴美子ども議会議長  
渡邊海都議員。

○渡邊海都議員  
ありがとうございました。これで質問を終わります。

○田窪琴美子ども議会議長  
以上で、渡邊海都議員の一般質問を終わります。  
次に、29番関前中学校須賀友香議員。



○須賀友香議員

関前中学校3年須賀友香です。私は、柑橘のブランド化について質問します。私は関前岡村島に住んでいます。今、関前では深刻な過疎化が進んでいます。みなさんは、大長みかん、大長レモンを知っていますか。これらは広島ブランド農産物です。今治市のスーパーでも他の物より高い値段で売られています。しかし、これらの柑橘は実際には大長で採れた物だけではなく、岡村島で採れた柑橘も入っています。同じみかん、レモンですが地元の人が今治で売ると、広島の人が岡村の柑橘を持ち帰り、広島で売るとでは値段が大きく変わります。そこで、岡村の柑橘をブランド化して島外に売り出すことはできないでしょうか。岡村では放置されたみかん畑が多くあることが問題になっています。岡村の柑橘がブランド化され、そこから得られる収入が多くなれば、畑をしようと思う人もふえると思います。働き手が増えれば島の活性化につながります。ぜひ、私たちのふるさとの活性化に協力していただけませんか。よろしくお願いします。これで、私の質問を終わります。

○田窪琴美子ども議会議長

答弁を求めます。

○菅良二市長

関前中学校を代表して、須賀友香議員と、村上和風議員2人が来て来てくれています。ちょうど昼食、須賀議員が私の隣で、お話を少しさせていただきましたけれども、大変落ち着いた将来をしっかりと見据えた方だなどと思いました。そして、村上和風議員は、実はつい最近なんですが、お邪魔をしてお母さんに代わってお茶の接待をしていただきました。この村上議員も、将来をしっかりと3年生として、次なる方向性といったものを考えている。2人とも同級生で、そして今まで随分と助け合ってきたと思います。この友情を大事にこれからの人生の宝としてしっかりと保有して協力して交流をさらに深めていけたらいいなどと思いました。

ところで、須賀友香議員ご質問の「柑橘のブランド化について」に関しまして、お答えいたします。須賀議員と村上和風議員は、「総合的な学習の時間」の中で、地域おこしのために、地元の人たちと関前の食材を用いたスイーツ作りに取り組み、2学期以降には、地域の文化祭や学習発表会の場で披露する予定だと聞いています。お2人の今後の活動に大いに期待したいと思いますし、願わくば、実は戦没者追悼式、そして敬老会、私こういった会に是非、関前岡村の方に行きたいと思っております。スイーツが頂けたら最高だなど、そんなことを感じながらお2人の特色を活かした活動に敬意を表しております。

さて、今回は、地域の産物の利用、販売の促進に向けた取り組みについての質問をいただきました。島しょ部、特に関前地域においては、人口減少と高齢化の著しい進展のため地域の基幹産業である農林水産業の後継者が不足し、耕作放棄地が増加して、地域の皆様の生活基盤の確保、また生活環境の保全においても重要な課題となっています。島しょ部や山間部が多く、大規模農業経営が難しい地域においても安定した持続的農業経営が可能となるよう、地元農産物のブランド化や6次産業化を積極的に推進し、経営基盤を強化するとともに、農

業が若者の職業選択肢の一つとして認知されるような魅力ある農の実現を目指しています。もちろん、JAさんとも連携しながら、特に昨今のJAさん、営農というものに大変力をいれてくれています。農と共に一緒に作物を育てていく。そして6次産業化を目指す、素晴らしい産業化をこういう取り組みをしていただいております。一体となって私ども農林振興課を窓口としてJAさんとタイアップして農家の将来といったものを見据えて努力してまいります。そういうふう zu 思っております。

関前地域は、柑橘栽培に適した気候、地質条件を生かして、明治、大正時代よりみかん栽培がとっても盛んでありました。最盛期には、「まるせきみかん」として、遠く県外へも出荷されましたが、時代の変遷とともに、ブランドとしての名前は消えてしまい、柑橘は「おちいまばり」ブランドに統合されています。市としましては、越智今治農協など関係団体とも連携しながら、関前地域を含め市域全体の柑橘のブランド化について、継続的かつ積極的に取り組んでいきたいと考えています。

柑橘のブランド化に向けた取り組みの状況については、農水港湾部長からお答えしますので、よろしく申し上げます。

#### ○越智博農水港湾部長

須賀友香議員ご質問の「柑橘のブランド化について」、現在の取り組みの状況などについて、お答えします。

関前地域では、「温州みかん」「紅まどんな」「はるか」「甘平」などを栽培しており、太陽と海からの照り返し、さらに、柑橘栽培に適した土壌により美味しいみかんができる地域であることは知られているところです。越智今治農業協同組合では、白いマルチシートを敷き太陽光を反射させ、樹上で完熟させるこだわりの栽培方法で甘く仕上げたみかんを差別化して「サンエース」という名前でブランド化しています。また、「瀬戸のはれひめ」や「紅まどんな」など、新しい品種の柑橘で一定以上の品質のものをブランド化して販売しています。

市としましては、これらの取り組みを積極的に支援するとともに、栽培に必要なマルチシートやハウスなどの施設への支援や新しい品種への改植の推進、さらに競争力と持続力のある農林水産業を育成するため、農林水産業従事者や新規就業者を総合的に支援し、担い手の確保・育成を図っていききたいと考えています。

関前地区においても地域に適した農産物のブランド化を進め、関前地区も含む島しょ部、ひいては今治市全体の柑橘栽培地域の活性化に取り組んでまいります。

以上でございます。

#### ○田窪琴美子ども議会議長

須賀友香議員。

#### ○須賀友香議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。



○田窪琴美子ども議会議長

以上で、須賀友香議員の一般質問を終わります。

次に、16番朝倉中学校曾我部江里加議員。



○曾我部江里加議員

朝倉中学校3年曾我部江里加です。私は、高速道路の進み具合と安全性について質問いたします。

私は、生まれ育ったこの今治市が大好きです。ですので、この今治市を他の市や他の県の人にもっと知ってもらい、多くの人が訪れるまちになって欲しいと思っています。そのためには、今、建設中の高速道路が果たす役割は大きいと考えています。

そこで、高速道路について質問いたします。まず、一つ目に進み具合についてです。私は、塾で毎回建設現場を通っていますが、工事に時間がかかっていると感じています。今治小松自動車道はいつ頃完成するのでしょうか。

二つ目に、安全性についてです。高速道路が完成すれば、交通量がふえると予想されています。そして、今治朝倉ICができる朝倉周辺の交通量も同じようにふえるのではないかと考えています。そこで、高速道路完成後、バイパスや周越農道等の交通量がどのように変わるのか、どう考えられているのかを聞かせていただきたいと思います。また、安全対策について何か考えられていることがあるのであれば、詳しく教えていただきたいと思います。

以上で質問を終わります。よろしくお願いいたします。

○田窪琴美子ども議会議長

答弁を求めます。

○菅良二市長

朝倉中学といえば、JFAアカデミー、いわゆるなでしこジャパンジュニア、今中学2年生10名、1年生が12名と皆さんが受け入れてくれて、仲良くやっているんだというお話を聞いております。そういった中で曾我部江里加議員、そして先ほどまで議長を務めておりました、長井應利議員、2人がしっかり生徒会を引っ張っていつてくれているというお話も聞かせてもらいました。曾我部議員は特に吹奏楽、非常に頑張って、テナーサクソだけでなく、ピアノも弾けるんだと。非常に音楽、文化に優れた才能もあるというふうに聞いて

おります。長井、先ほどの議長、今ふと考えると、今朝倉では市議員が一人いるんですけども、ポスト藤原を目指して頑張ってくれたら。そんな思いで議長ぶりを拝見しておりました。代表して、曾我部江里加議員ご質問の「高速道路の進み具合と安全性について」に関しまして、お答えさせていただきます。

今治小松自動車道の区間は、中・四国地方を連結する高速交通網が分断されており、これを解消する今治道路は、産業や観光の振興をはじめ、大規模災害時の緊急輸送路としての役割も担っている重要な道路であります。いわゆる分断、ミッシングリンクとよくいわれております。これの解消のために私たち毎年毎年、国交省、もちろん県庁にも行くし、四国整備局というのがありますが、こういったところに毎年、また月曜日は高松のほうにも行かせていただきます。こういったことを積み重ねながらやっと、先ほど話しましたように起工式を朝倉から今治までの起工式を迎えることができました。中身について少し説明させていただきます。

まず1点目の「今治小松自動車道はいつ頃完成するのか」についてでございます。未開通区間のうち、朝倉IC～湯ノ浦IC間では工事が進んでいますが、残りの今治IC～朝倉IC間は、現在、土地の所有者と用地買収に向けた話し合いをしている段階です。用地買収が完了する時期やその後予定している埋蔵文化財、この調査などの見通しが立っていないことから、現時点では完成年次を言える段階にはないんですが、希望も含めて平成35年中頃、皆さんがちょうど21、22歳かなと思ながらできるだけ早くに、もちろん国交省とも、そして地権者、土地を持っておられる方の協力がなければなりませんので、こういった事を視野に入れまして国、県と共に取り組んでいるところでもございます。

次に、2点目の高速道路完成後のバイパスや周越農道等の交通量と、安全対策についてです。今治小松自動車道が開通することによって、国道196号線や周越農道など主要道路の交通量は、減少すると予測されています。もともと、この高速道路の整備は、交通の分散を図り、国道196号線の渋滞を緩和させることが目的の一つでしたので、便利で速い高速道路が整備されると、インターチェンジ付近を除き、周辺的一般道路の交通量は減少するものと考えています。

また、安全対策については、すでに整備されている道路は適切な安全対策を取っていますが、通行量の増加が見込まれるインターチェンジ付近の道路で、新たに交差点がふえる箇所などについては、標識や横断歩道を設置するなど、適切な安全対策を講じていく予定です。以上です。

○田窪琴美子ども議会議長  
曾我部江里加議員。

○曾我部江里加議員  
ありがとうございました。これで質問を終わります。

○田窪琴美子ども議会議長



以上で、曾我部江里加議員の一般質問を終わります。

次に、31番今治東中等教育学校平木直都議員。



○平木直都議員

今治東中等教育学校3年平木直都です。えひめ国体の一般市民の参加について質問いたします。来年の国体は愛媛県で開催されます。大会のスローガンは、「君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え」です。今治市では、約10種類の競技が実施されます。そのため、全国から大勢の選手が参加します。一般の市民は大会の運営や広報のボランティアとして参加することができます。今治市は、ボランティアの募集人数を700人程度としています。ボランティアの仕事は、受付、会場案内、会場整理、写真の撮影などたくさんあります。えひめ国体まであと1年ほどです。今、ボランティアの募集はどのくらいできていますか。中学生が協力できるボランティアはどのようなものがありますか。

以上で質問を終わります。よろしくお願ひします。

○田窪琴美子ども議会議長

答弁を求めます。

○菅良二市長

今治東中等教育学校の平木直都議員、それから阿野響議員、2人が来てくれています。平木議員は、生徒会活動しっかりとリーダーシップを発揮してくれていると聞いておりますし、阿野議員、珍しい阿野さんと呼ぶのと思いましたがけれども、先生から非常に女性として奥ゆかしくて、優等生であるのに控えめであると。まさに日本人としての良さをしっかりと秘めておられる、そういう方だと伺っております。代表して、平木直都議員ご質問の「えひめ国体について」に関しまして、お答えします。

国体が愛媛県で開催されるのは、昭和28年（1953年）に四国4県で共同開催して以来、実に64年ぶりのことで、愛媛県単独での開催としては初めてのことになります。

ご質問の中で、「今治市では、10種類の競技が実施される。」とのご紹介がありましたが、内訳を申し上げますと、天皇杯・皇后杯の得点対象となります正式競技は、ボート・バスケットボール・自転車ロードレース・ソフトテニス・軟式野球・アーチェリーの6競技、県民の皆様が気軽に参加できるデモンストラーションスポーツが、アームレスリング・ダブルダッチ・日本拳法・合気道の4競技の合計10競技ということになります。加えて、国体終了

後には、全国障害者スポーツ大会も開催されることになっており、本市では、車椅子バスケットボールとアーチェリーの2競技が予定されています。

えひめ国体を開催するにあたり、本市では、市民の総力を結集し、喜びと感動を共有できる大会、おもてなしの心によるふれあいの大会を実施目標に取り組んでいます。

中学生の皆さんにも様々な形で、えひめ国体に関わっていただきたいと思っておりますが、おもてなしの気持ちを持って、県外からの来場者に接していただくよう、よろしくお願いいたします。

なお、現在、中学3年生の議員の皆さんは、国体開催時には中学校を卒業されていますが、本市が募集しているボランティアの応募要件を満たしていますので、是非、積極的にボランティア登録をしていただき、一緒に大会を盛り上げてもらいたいと思います。ご応募をお待ちしています。

その他詳細については、企画財政部長からお答えしますので、よろしくお願いいたします。

#### ○胡井裕志企画財政部長

平木直都議員ご質問の「えひめ国体について」にお答えします。まず、「ボランティアの応募状況」ですが、平成27年9月からボランティアの募集を開始して、平成28年6月末現在、約600名の皆様から応募いただいております。来年3月まで募集を続け、目標人数を確保したいと考えています。えひめ国体本番に向けまして、競技会の運営能力の向上と開催機運の醸成を図るため、先月17日のアーチェリーを皮切りに、正式競技6競技のリハーサル大会を順次開催していますが、既にボランティア登録をしていただいている皆様方に、受付や会場案内、また休憩所における無料ドリンクの提供などの業務に当たっていただいております。

次に、「中学生が協力できるボランティアについて」ですが、受付、会場案内、会場整理及び写真撮影などのボランティアにつきましても、平成14年4月1日以前に生まれた方を対象としており、残念ながら、現在中学校2年生以下の皆さんには従事していただくことはできませんが、学校を通じまして、競技補助員や競技会補助員として、競技運営のお手伝いをしていただくこととしています。そのほかにも、えひめ国体に関連する各種のイベントに参加したり、国体会場に足を運んで選手に声援を送ったり、きれいなまちで全国から集まる大会関係者をお迎えするための各種清掃活動に参加したり、様々な方法でえひめ国体に関わることができますので、中学生の皆さん方のご参加、ご協力をお願いします。

以上です。

#### ○田窪琴美子ども議会議長

平木直都議員。

#### ○平木直都議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○田窪琴美子ども議会議長

以上で、平木直都議員の一般質問を終わります。

次に、33番今治明德中学校八木新葉議員。



○八木新葉議員

今治明德中学校3年八木新葉です。私は、今治市のスポーツ、文化施設について質問します。

現在、今治市には市営球場や市営体育館、新都市のテニスコート、公会堂などのスポーツ、文化施設があります。またFC今治のメインスタジアムも建設中です。まず、スポーツ施設ですが、一度改修後の市営球場に入りましたが、グラウンドの外野の芝生はところどころ枯れ、きれいとは言い難い状況でした。

次に文化施設の公会堂は、日本を代表する建築家の丹下健三さんが作られた貴重な建物です。にもかかわらず、松山市等の施設に比べると、コンサートや演劇、講演会などで利用される機会が少ないように思われます。合唱のコンクールで利用した際に反響板が小さめであると感じました。反響板一つで観客に届く音の質が違ってきます。スポーツ、文化施設の環境を整え、もっと人を呼べる環境を作るべきではないでしょうか。例えば野球、野球王国愛媛の名をさらに輝くものにするためにも、プロ野球のオープン戦を誘致してみてもどうでしょうか。サッカースタジアムは、試合で使用しないときにはサッカー教室を開くなどして、使わない日を減らす取り組みをするべきだと思うのです。公会堂でコンサートや演劇に触れる機会を増やすべきだと思うのです。

今治を、スポーツや芸術を通じて全国からたくさんの方が行き交う都市にしていってはどうでしょうか。以上で私の質問を終わります。

○田窪琴美子ども議会議長

答弁を求めます。

○菅良二市長

本日のおおとり、今治明德中学校八木新葉議員、皆さんわかばといたら当然青葉若葉の、新しい葉と書いて新葉ちゃん。お父さんがつけたのか、お母さんがつけたのかセンスのいい名前であります。それから、反響板のご指摘をいただきました。さすがにNHK合唱コンク

ールで一昨日8月2日ですから、つい最近銅賞。たいへんなそういった力がある、そういった中で反響板のご指摘はぐっと胸に刺さりました。そして一緒に来ている糸田一馬議員。大変成績優秀のようです。頭の回転が速いということで、皆さんもひとつ、是非ともそういった方向にむかってこれからいよいよ中学校生活のラストは、受験という試練ですから取り組んでいただけたらありがたいと思っております。

八木新葉議員ご質問の「今治市のスポーツ、文化施設について」に関しまして、お答えいたします。

スポーツを地域資源としてとらえ、地域の活性化を図るために、えひめ国体に合わせて整備、改修した市営球場、改修というよりも新築みたいに取り組みました。それから中央体育館、これはリニューアルしました。新都市スポーツパークの、ここでのテニス、硬式も出来ます。かなりいいものが完成しました。この施設を活用し、スポーツのまちづくりに取り組んでいます。プロのバスケットボール、バレーボール、野球やサッカーの試合も開催され、多くの方に観戦していただいております。

岡田武史さんが「サッカーを通して、今治に、日本に、世界に、夢と勇気と希望そして感動と笑顔をもたらす」という大きなビジョンを掲げFC今治の代表に就任されたことや、昨年には、なでしこJAPANを目指す人材育成を行う「JFAアカデミー今治」が開校したことを受け、全国からサッカーのみならず様々なスポーツに携わる方々が本市を訪れるようになりました。スポーツでさらに多くの人を呼び込み、この今治市が瀬戸内のスポーツ交流の拠点となることを目指していきたくて考えています。

次に、文化施設については、ご発言のとおり公会堂は日本を代表する建築家の丹下健三さんの設計によるもので、この公会堂から文化を発信し、多くの人に来ていただくことは大変意義のあることです。公会堂の客席は1,002席で、市内で一番客席が多い施設です。文化の発信拠点として大いに利用していただき、地域活性化に繋げていきたくて考えています。

また本市には、この度、日本遺産に認定された「村上海賊」で話題の村上水軍博物館のほか、河野美術館、玉川近代美術館、大三島美術館や伊東豊雄建築ミュージアムなど、多彩な文化施設がありますので、多くの方に足を運んでいただきたい、そして、八木議員の提案のように、今治を、スポーツや芸術を通じて全国からたくさんの方が訪れ、行き交う都市にしたいと考えています。

その他詳細については、教育委員会事務局長からお答えしますので、よろしく申し上げます。

#### ○新居田昌彦教育委員会事務局長

八木新葉議員ご質問の「今治市のスポーツ、文化施設について」に関しまして、私からお答えします。本日最後の答弁となりますので、よろしく申し上げます。まず、市営球場の芝の状況についてですが、改修工事中は通常の手入れが出来なかったため、改修後、肥料をまくなどの処置を行い、ようやく高校野球が開催できるところまでは回復しました。今後、利用が少なくなる期間に改めて処置を行っていく予定です。

次にプロ野球の誘致についてです。今治市では、新しくなった中央体育館でプロバスケッ

トボールの試合、市営球場ではマンダリンパイレーツの試合が行われ、プロスポーツを目にする機会も増えてきています。F C今治のサッカーも盛り上がってきており、今後、プロ野球のオープン戦の誘致についての機運も高まってくると思います。実現すれば、市民みんなが楽しめるような企画も計画したいと考えています。

また、F C今治のサッカースタジアムは、天然芝など、J 3リーグのスタジアム要件を満たす施設として整備されますが、代表の岡田武史さんは、公式試合以外でも市民のみなさんが集まる場所になるよう、多目的な利用を考えているようです。

そして公会堂ですが、建物や設備の老朽化に伴い平成 25 年にリニューアルオープンしました。リニューアルにあたり、丹下建築のデザインを変えないように配慮しながら、快適で使いやすい施設を目指しました。中学・高校の定期演奏会や合唱コンクール、有名なアーティストによるコンサートや演劇、著名な講師による講演会、テレビ番組の収録、中学生弁論大会やダンス・バレエの発表会、市民の皆様によるカラオケ大会や芸能発表会など、いろいろな文化活動で利用されています。

反響板についてですが、公会堂は最近のコンサートホールと異なり、舞台の天井の高さが低く、舞台袖も狭いため、合唱などで使用する場合は、舞台に設置している反射板を活用しております。

なお参考ですが、公会堂以外にも、中央公民館や各地域に文化施設があり、規模や目的に応じて、コンサートや講演会等が開催されています。

以上でございます。

○田窪琴美子ども議会議長  
八木新葉議員。

○八木新葉議員  
ありがとうございました。これで質問を終わります。

○田窪琴美子ども議会議長  
以上で、八木新葉議員の一般質問を終わります。  
これで、すべての一般質問が終了しました。

---

○田窪琴美子ども議会議長  
ここで、菅市長さんから、今日の今治市子ども議会の講評をいただきたいと思います。  
菅市長さんよろしくお願いします。





### ○菅良二市長

子ども議会の閉会にあたりまして、ご挨拶を申し上げます。子ども議会の議員の皆さん、長時間お疲れになったと思いますが、最後まで本当に皆さんしっかりと答弁席に顔を向けていただき、聞いてくれておりました。本職の議員さん、参考にしてくれていると思っております。この仕切りを長井應利さんと田窪琴美さん、見事な議会運営をしていただきました。ありがとうございました。皆さんの質問を振り返ってみますと、中学生らしい本当に新鮮な目と鋭い感覚で今治の抱えている課題に関心を寄せ、自分の毎日の生活の中で気づいた事やそれぞれの地域を見つめ直す中で生まれた質問でした。そして、未来に向けて、これからの今治市を自分たちの手でさらに良くしたい、そういった強い思いや願いが込められた質問でもありました。とても、頼もしく感じました。

冒頭の挨拶で申し上げましたとおり、選挙権年齢が20歳から18歳に引き下げられました。これは、政治への参加を通して、より良い社会をつくるため、少子高齢化の進む我が国で、未来の日本に生きていく若い世代が、自分の考え、そして行動をもって社会に参画できることであり、そのために皆さんは、これまで以上に、民主主義や政治の仕組みについて勉強していかなくてはなりません。提案があります。新聞、毎日目を通してください。もちろん、オリンピックが始まりますから、スポーツ欄見ても構わないんですが、1面と2面これは必ず読んで欲しい。社説も含めて。随分教えられることが、学ぶことがあるはずですよ。

本日の子ども議会に参加した経験、これは皆さんが今治市のことについて、今まで以上に関心をもっていただく機会となったと思います。今治市民として、何事に対しても自分たち自身のこととしてとらえ、より素晴らしい今治を創っていくためにはどうすべきか、自ら考え、自らかかわり、自ら実行していただけたら、私にとっても、こんな嬉しいことはありません。未来の今治をつくるのは、皆さんです。皆さん一人ひとりなのです。大いに期待いたしております。もちろん、私たちも、本日の皆さん方からいただいた貴重な意見、質問を、市民の皆さんが「今治市に住んでよかった」「ずっと住み続けたい」と実感していただけるようなまちづくりに生かしてまいりたいと考えております。

今日は17名の質問、質疑でありました。十分な時間が取れなくて、この席から再質問したいなと思っていた方もたくさんあると思います。今後の検討課題として、私どもに何ができるのかを、どうしたらもっとくみ取れるのかを考えていきたいと思っております。

皆さんの中には、将来、進学あるいは就職などで、この地を離れる方もおられると思いま



す。しかしいつの日か、ふるさとの良さを再認識し、戻ってきていただけるような基盤を創るため、私をはじめとする市役所のスタッフはもちろんのこと、議長さん、副議長さんをはじめとする市会議員の皆さん、そして皆さんをとりまく各界各層の全ての大人の方々と一緒になって知恵を絞り、総力を挙げて未来を拓く、輝くいまばりづくりに邁進してまいります。

最後になりましたが、本日の子ども議会の開催にあたり、お力添えいただきました各中学校の先生方を始めとする関係者の方々、また保護者の皆様方に厚くお礼を申し上げ、閉会にあたってのご挨拶といたします。ありがとうございました。

#### ○田窪琴美子ども議会議長

菅市長さん、ありがとうございました。

以上で、本日の日程は全部終了しましたので、今治市子ども議会を閉会します。

